

イエスの証しとしての召会の八つの面

聖書：啓 19:10. 1:1-2, 10-13. 19:7-9, 14-19. 20:4-6. 21:9, 3, 22

- I. イエスの証し（啓19:10）は、七つの金の燭台です。すなわち、性質において神聖であり、暗やみの中で輝いており、互いに同一です（啓1:1-2, 10-13. 2:1）：
- A. 金の燭台は、三一の神を象徴します。すなわち、父は実質であり、子において具体化されています。子は具体化であり、霊を通して表現されます。霊は諸召会として完全に実際化され、表現されます。諸召会は、イエスの証しです——出 25:31-40. ゼカリヤ 4:2-10. 啓 1:10-12。
- B. 神聖な思想において、金の燭台は実は、生きた成長している木であり、萼とアーモンドの花を持っています。このゆえに、燭台は、キリストにおいて具体化されている三一の神が、生きた、復活の金の木であることを描写しています。すなわち、わたしたちの中で、わたしたちをもって、わたしたちによって、わたしたちの中から成長し、枝を出し、つぼみを出し、開花し、光の実を生み出します。この実は、性質において良いものであり、手続きにおいて義であり、表現において真実です。それによって神は、わたしたちの日常の歩みの中の実際として表現されます——出 25:31, 35. エペソ 5:8-9。
- C. イエスの証しとしての金の燭台、すなわち、イエスの団体の表現を経験するために（使徒 9:4-5. I コリント 12:12）、わたしたちは主イエスの御名を絶えず呼び求めることによって（I コリント 12:13. ローマ 10:12-13. 哀 3:55-56）、イエスの霊で満たされ（使徒 16:7）、イエスの焼き印を帯び（ガラテヤ 6:17）、兄弟たち、またイエスにある患難と王国と忍耐とに共にあずかっている者たちとならなければなりません（啓 1:9-10）。
- II. イエスの証しは、宮の中で神に仕えている大群衆、すなわち、神の贖われた人全体です。彼らは天へと携え上げられて、神の顧みと小羊の牧養を享受し、天上にある、またキリストの中にある、霊のものであるあらゆる祝福を得ます。それは、今日わたしたちが享受することのできるものです——啓7:9-17. エペソ1:3. ガラテヤ3:14. 創12:2. 参照、啓21:3-4. 22:3-5. イザヤ49:10：
- A. 大群衆は、あらゆる国、部族、民族、言語から、小羊の血によって買い取られた人たちから成っており、彼らは召会の構成要素となります——啓 7:9 前半. 5:9. ローマ 11:25. 使徒 15:14, 19. I コリント 6:19-20。
- B. 御座の中央にいる小羊は、わたしたちを牧養し、わたしたちを命の水の泉に導きます——啓 7:17 前半：
1. 牧養は、養うことを含みます。キリストの牧養の下で、「わたしには欠けるものはありません」——詩 23:1。
 2. わたしたちは決して自分自身を改善することはできません。わたしたちは、常にわたしたちを養う牧者を必要とします。彼は、神の小羊としての経験を

もって小羊たちを養います。この神の小羊は神の御座に着いていて、神の家の中におり、また神の家のためです——2-6節。啓22:1。

III. イエスの証しは、輝く女と男の子です。女は、神の贖われた人全体を表します。

男の子は、勝利者、すなわち、神の民のより強い部分を表します——啓12:1-17:

- A. 勝利者（男の子）を生み出す神の民は、光に満ちています。これが示していることは、勝利を得る神の民が光体であって、すべての世代を通して輝いているということです——1-5節。雅6:10。ヨハネ8:12。マタイ5:14。箴4:18。参照、創1:16-17。
- B. 男の子は、勝利者を表徴します。彼らはキリストと一になって協力して、彼の敵と戦い、神の王国をもたらします——啓12:5-10:
1. 男の子になる道は、わたしたちが内なる人の中へと増強されること、力づけられてキリストの豊富を経験すること、殺す言葉を祈り読みすることによって神の武具を身に着けて強くなることです——エペソ3:16, 18。6:10-11, 17-18。啓1:16。19:13-15。
 2. 「兄弟たちは、小羊の血のゆえに、また彼らの証しの言のゆえに、彼に打ち勝った。彼らは死に至るまでも、自分の魂の命を愛さなかった」——12:11。

IV. イエスの証しは、初穂であり、それは大患難の前に携え上げられる勝利者を表徴します。また収穫物であり、それは大患難の終わりに携え上げられる大多数の信者たちを表徴します——啓14:1-5, 14-16:

- A. 主は一回目に地上に来たとき、ご自身を信者たちの中へとまきました。その時以来、彼を命の種として受け入れたすべての信者は、地上における神の農場、彼の作物となりました——マタイ13:3-8, 24。Iコリント3:9:
1. 神の畑で最初に熟した者たちである勝利者は、大患難の前に刈り取られ（携え上げられ）、神と小羊への初穂となります——啓14:1-5。
 2. 大多数の信者たちは、大患難における苦難の助けを得て熟し、大患難の終わりに刈り取られます——15節。
- B. 携え上げは、おもにわたしたちの享受のためではなく、神の享受のためです。わたしたちは携え上げられるために用意を整える必要がありますが、それはわたしたちの幸いのためではなく、神の定められた御旨を成就するためです——12:5, 7-11。14:1, 4後半。19:7。
- C. 携え上げられることの意味は、主の臨在の中へと取られることです。わたしたちは主の臨在の中へと取られるために、今日、彼の臨在の中になければなりません——IIコリント2:10。Iヨハネ1:3。
- D. 勝利者の携え上げは、敵を打ち破り、神を満足させるためです。主は、男の子が主の敵と戦うことを必要とします。しかし、主はご自身の満足のために初穂をさらに必要とします——啓14:1, 4後半。参照、雅8:6, 13-14。

V. イエスの証しは、ガラスの海の上に立っている勝利者であり、後期の勝利者を表徴します。彼らは大患難を経過し、反キリストと彼を拝むことに打ち勝ちます——啓15:2-4:

- A. 後期の勝利者は、モーセの歌（神の民の敵に対する神の勝利の裁きを示します）と、小羊の歌（神の民が敵の前で経験したキリストの贖いを示します）を歌います——3節前半。出 15:1-18。
- B. 後期の勝利者は、神のみわざと神の道を賛美します。すなわち、神の行動と神の原則を賛美します。神の道は、彼の原則において義であり、彼の約束において真実です。神のみわざは、現れにおいて偉大であり、性質において不思議です——啓 15:3 後半-4. 詩 103:7. 参照、107:10-20。

VI. イエスの証しは、キリストの花嫁です。すなわち、千年期においてキリストと共同の王となる勝利者です——啓 19:7-9. 20:4, 6 :

- A. 主の回復は、キリストの花嫁の用意を整えるためです——19:7-9. 21:2。
- B. 最終的に、わたしたちはすばらしいシュラムの女へと同形化されます。彼女はソロモンの複製であり、キリストの配偶者、花嫁としての新エルサレムの最大で究極的な型です——雅 6:13. 啓 21:2, 9-10. 22:17 前半。
- C. シュラムの女は、神の目に、二つの陣営あるいは軍隊（ヘブル語は、マハナイム、Mahanaim）の踊りにたとえられています。ヤコブは、神の御使いたち、すなわち、神の二つの軍隊に会った後、自分のいた場所をマハナイムと名づけ、自分の妻たち、子供たち、所有を「二つの軍隊」に分けました——雅 6:13. 創 32:2 :
1. 二つの軍隊の霊的意義は、わたしたちが勝ち得て余りがある強い証しです。わたしたちは、キリストのからだの原則にしたがって、わたしたちを愛してくださった彼を通して、「超勝利です」——ローマ 8:37. 12:5. 申 32:30. 伝 4:9-12。
 2. 神は、自分自身の中で強い者を欲しません。神はただ、脆弱な者、弱い者、女と子供を欲します。勝利者になるのにふさわしいと数えられる人は、主に頼る弱い人です——I コリント 1:26-28. II コリント 12:9-10. 13:3-5. 雅 8:6。

VII. イエスの証しは、花嫁の軍隊です。彼らは、神の具体化であるキリストと共に戦い、サタンの具体化である反キリストと彼の軍隊を打ち破ります——啓 19:14-19. 17:14 :

- A. エペソ第 5 章と第 6 章においてわたしたちは、召会が花嫁と戦士であることを見ます。啓示録第 19 章においてもわたしたちは、召会のこれら二つの面を持ちます——エペソ 5:25-27. 6:10-20. 啓 19:7-9, 11-16 :
1. キリストは地へと下ってきて、反キリストと人の統治の総合計とを対処する前に、婚姻を持ち、長年にわたって神の敵と戦ってきた彼の勝利者を彼ご自身へと結合させ、一つの実体とならせます——7-9 節. 参照、ダニエル 7:25. 6:10. エペソ 6:12。
 2. 婚姻の後、キリストは彼の新しく結婚した花嫁と共にやって来て、反キリストを滅ぼします。この反キリストは自分の軍隊と共に、神に対して直接、戦います——啓 19:11-16。
- B. エペソ第 5 章では、言葉は養うためであり、花嫁を美しくし、神を表現します。

エペソ第 6 章では、言葉は殺すためであり、それによって団体の戦士としての召会は、神の統治のために霊的戦いに従事することができるようになり、こうして神の当初の意図を成就します—— 5:26-27. 6:17-18. 創 1:26。

VIII. 最終的に、イエスの証しは、幕屋と宮の究極的完成としての新エルサレムです。
すなわち、神と人との、神性と人性との永遠の合併、永遠の建造です——啓 21:9, 3, 22 :

A. わたしたちは主をわたしたちの住まいとして、わたしたちが彼の住まいとなることによって、神性と人性との合併としての新エルサレムを生かし出し、成し遂げることができます——ヨハネ 15:4-5 :

1. わたしたちが主イエスを愛するとき、彼はご自身をわたしたちに現します。そして御父は彼と共にやって来て、わたしたちと共に住まいを造り、わたしたちの享受となります。この住まいは相互の住まいであり、その中で三一の神はわたしたちの中に住み、わたしたちも彼の中に住みます—— 14:23。
2. わたしたちがキリストの中に住み、彼がわたしたちの中に住むのは、わたしたちの外側にある聖書の恒常的な言葉と、わたしたちの内側にあるその霊としての現在の言葉とに接触することによってです。わたしたちが主の中に住み、主の言葉をわたしたちの中に住まわせるとき、わたしたちは実際において彼と一です—— 5:39-40. 6:63. II コリント 3:6. 啓 2:7 後半. ヨハネ 8:31. 15:7。

B. 神の建造（新エルサレム）の構成要素としての勝利を得た信者は、碧玉とその他の宝石によって表徴されます——啓 21:9-11, 18-21. I コリント 3:12 前半 :

1. 碧玉は、神の外観を表徴しており、神の栄光をもって、新エルサレムの光として輝いて、神を表現します——啓 4:3. 21:11, 18-19。
2. その他の宝石は、キリストの美しさの豊富のさまざまな面を表徴し、神の永遠の住まいの土台となります—— 19-21 節。
3. 裁く霊、燃やす霊、流れる霊、すなわち、主なる霊によって、わたしたちは造り変えられつつあります。それは、苦難、消耗させる圧迫、十字架の殺す働きを通して獲得された、復活の神としてのキリストの豊富を経験することによってです——イザヤ 4:4. 11:2. ヨハネ 4:14 後半. II コリント 1:8-9。
4. 生ける石としてのキリストの中で、神聖な命において成長することによって、わたしたちは宝石へと造り変えられつつあります。造り変えの過程を通して三一の神は、わたしたちの中へと造り込まれつつあり、またわたしたちと共に構成されつつあります。それは、愛する者の中で、彼がわたしたちを恵まれた彼の恵みの栄光の賛美となります。そしてわたしたちは新エルサレム、すなわち、イエスの究極的な証し、全宇宙に対する福音となります—— I ペテロ 2:4. 啓 21:18-21. エペソ 1:3-6. 参照、ルカ 4:18-19。